

# JBL








by HARMAN

## JBL FLIP 3








### 取扱説明書

## 安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

<b>⚠ 警告</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
<b>⚠ 注意</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。
■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。	
 禁止(してはいけないこと)を示す記号です。	 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 分解してはいけないことを示す記号です。	 指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	 電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。
 触れてはいけないことを示す記号です。	

<b>⚠ 警告</b>	 AC アダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万一の場合、AC アダプタを容易に引き抜くためです。
 付属品以外の電源コードは使用しない。火災の原因になることがあります。	 付属品の AC アダプタを他の機器に転用しない。火災の原因になることがあります。
 船舶などの直流 (DC) 電源には接続しない。火災の原因になります。	 電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。
 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。	 電源コードが破損した場合 (芯線の露出や断線など) には、販売店または弊社東京サービスセンターに交換 (有償) を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
 発熱により火災・感電の原因になります。	 テーブルタップ (延長コード) を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。
 雷が鳴りはじめたら、電源アダプタには触れない。感電の原因になります。	 電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きにしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
 煙が出る場合、異常なおいや音がする場合は、すぐに AC アダプタをコンセントから抜く。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。	 ほこりや湿気の多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。

<b>⚠ 注意</b>	 不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因となります。
 濡れた手でコンセントを抜き差ししない。感電の原因になります。	 移動するときは電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
 長期間本機を使用しないときは、AC アダプタをコンセントから抜く。火災・感電の原因になります。	 薬物厳禁 ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。
 AC アダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。	
 AC アダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。AC アダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。	

## 内蔵電池についてのご注意

- ⓘ 内蔵電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また内蔵電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。
  - 液が漏れたとき
    - 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいでください。
  - 液が目に入ったとき
    - 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
  - 液が体や衣服についたとき
    - すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。
- ⓘ 内蔵電池について以下のことに注意する。本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。
  - 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
  - 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
  - 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
  - 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
  - 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
  - 所定の時間を超えても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。
  - 本書で指定している以外の方法で充電しないでください。

## Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信 / 受信ができなくなることがあります。

- 2.4GHz を利用する無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BS チューナー、CS チューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

- 2.4GHz を利用する無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BS チューナー、CS チューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

### ⚠ 注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、全ての Bluetooth 機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

### 安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

### ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

### 電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解 / 改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

### 周波数について

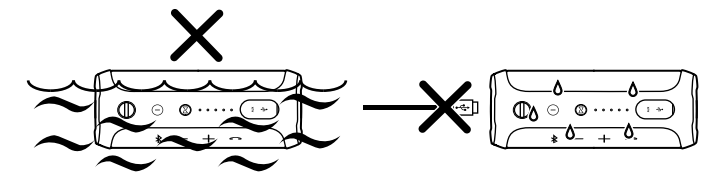
この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FHSS (周波数拡散方式) を採用し、想定される与干渉距離は約 10m です。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社東京サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

2.4 FH 1
----------

### 本機の防水性能について



## 本機の特長

- ◆ パッシブラジエーター搭載により、迫力ある JBL サウンドを提供。JBL の持ち味であるクリアな中高域に加え、低音の厚みを増強させるパッシブラジエーターを搭載。屋内外問わず、迫力のある JBL サウンドをお届けします。

- ◆ 連続約 10 時間以上のワイヤレス再生を実現。約 3.5 時間の充電で連続約 10 時間\* 以上のワイヤレス再生が可能。アウトドアでも十分に、ワイヤレス音楽再生を楽しむ事ができます。\* 再生時間は、使用環境により異なります。

- ◆ 充実のワイヤレス機能により、さまざまなシーンで活躍。「JBL コネクト」機能搭載により、JBL FLIP3 を 2 台同時にワイヤレス接続が可能です。同時に再生することで、大音量かつパワフルなサウンドをお楽しみいただけます。また、スマートホン・タブレット用アプリ「JBL Connect」(英語版・無料) を使えば、同時に接続した 2 台の JBL FLIP3 を左チャンネル用・右チャンネル用に設定し、ステレオ再生することができます。より臨場感があるサウンドをお楽しみいただくことができます。

さらに、Bluetooth 接続でデバイスを 3 台まで同時にペアリングし、交互に音楽再生することができる機能 (ソーシャルモード) を搭載。接続した複数台のデバイスのうち、最後に再生ボタンを押したデバイスの音楽が再生され切り替えも簡単。アウトドアやホームパーティなど、さまざまなシーンで活躍します。

## 付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

本製品は、防水規格 IPX5 相当の仕様となっています。あらゆる方向からの噴流水による有害な影響がない「防噴流形」です。

- ※ 完全防水ではありませんので水中では使用しないでください。
- ※ 本機に付属の USB ケーブルは防水仕様ではありません。水がかかる恐れのある場所で、USB ケーブルやオーディオケーブルを接続して使用しないでください。
- ※ 万一、本機に水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障の場合は、保証対象外となりますのであらかじめご了承ください。
- ※ シリコンのカバーをしっかりと閉めてご使用ください。

- ◆ アウトドアに最適な、スプラッシュプルーフ対応。アウトドアや水回りでも安心して使えるスプラッシュプルーフ (IPX5 防水機能) に対応\*。パーベキューやビーチなど屋外でのアクティビティを盛り上げるアイテムとしてはもちろん、キッチンや浴室などの室内など、いつでもどこでも手軽に JBL サウンドをお楽しみいただけます。\* 水中での使用はできません。
- ◆ VoiceLogic 搭載で、高音質ハンズフリー通話を実現。独自技術 VoiceLogic (ボイスロジック) 搭載により、高音質のハンズフリー通話を実現しました。周囲の騒音を排除する高性能ノイズキャンセリング機能と、音声をクリアに抽出するマイクを搭載しているので、電話会議などでの使用にも最適です。スマートホン を Bluetooth 接続することでハンズフリー通話が可能となり、音楽再生中の着信応答は通話ボタンひとつで簡単にハンズフリー通話に切り替わります。

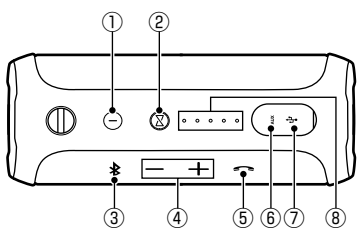
- ◆ Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- ◆ Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- ◆ JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。



- ◆ Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- ◆ Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- ◆ JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。

- USB ケーブル (マイクロ USB ↔ USB/ オレンジ)
- 日本語取扱説明書 (本紙)
- 多言語取扱説明書
- 保証書 (日本国内用)

## 各部の名称とはたらき



### ご注意

本機は両サイドにパッシブラジエーターを装備しています。

- パッシブラジエーターは振動する構造のため、壁面間近に設置すると、音質によっては効果を得られにくかったり、共振が起こりやすくなります。実際にお試しになって、設置場所を決めることをおすすめします。
- 破損の原因になりますので、パッシブラジエーターに手を触れないでください。

- 電源ボタン (⏻)
- 電源を入れる / 切るたびに、「ポツ」とピーブ音が鳴ります。
- JBL コネクトボタン (X)
- 複数のスピーカーをワイヤレスで接続します。
- Bluetooth ボタン (✱)
- 音量ボタン (−) (+)
- ハンズフリーボタン (☎) / 再生・一時停止ボタン
- AUX IN (オーディオ入力) 端子 (防水カバー内)
- MICRO USB 端子 (防水カバー内)
- バッテリーインジケーター
- 本機の電池残量の目安を確認できます。電池の消費にともない、インジケーターがひとつずつ消灯していきます。

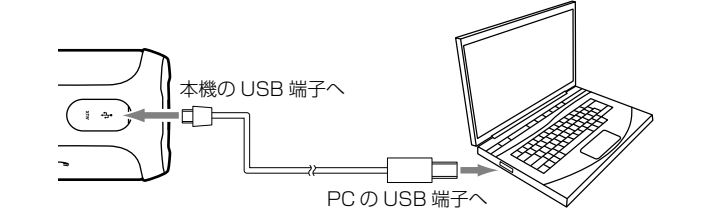
## 充電する

付属の USB ケーブルで、PC または電源コンセントから充電します。充電時間は約 3.5 時間\*です。

※ 内蔵電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

PC から充電する場合は、付属の USB ケーブルを本機の USB 端子と、PC の USB 端子に接続します。

※ 端子に水分が付着している場合は、よく乾かしてからご使用ください。



## Bluetooth 接続を行う

• Bluetooth 機能を使ってワイヤレス再生を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。

• 本機は Bluetooth マルチポイント機能により、Bluetooth 接続で携帯電話・スマートホン を 2 台同時に待ち受け状態にしておくことができます。

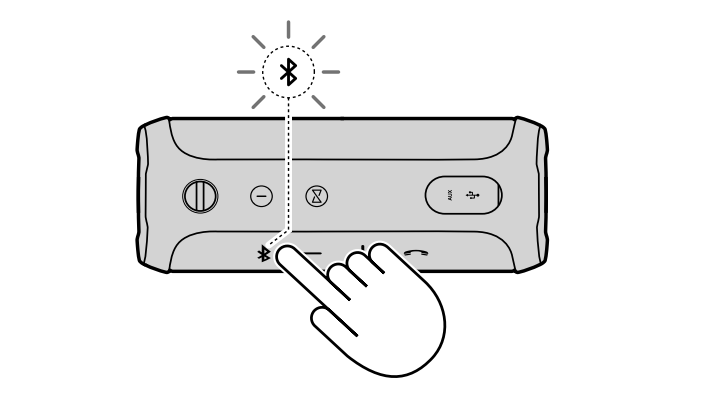
### ▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

① 電源ボタン ( ) を押して、本機の電源を入れる。

② Bluetooth ボタン ( ) を押す。

Bluetooth ボタン ( ) が点滅し、ペアリング設定状態になります。



③ デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。

**iPhone/iPod/iPad の場合：**

- iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。Bluetooth に接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- デバイスから「JBL Flip 3」を選択する。接続が完了すると、デバイス上で「接続されました」と表示されます。

**携帯電話・スマートホンでハンズフリー接続を行う場合：**

- 携帯電話・スマートホンでペアリング操作を行い、登録 / 接続する。（パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。）ハンズフリー通話をしたい場合は「ハンズフリー (HFP)」、音楽再生のみ行いたい場合は「ワイヤレスステレオ (A2DP)」で接続してください。
  - 登録にはお使いの携帯電話・スマートホンの「端末暗証番号」が必要になる場合があります。
  - 機種によっては同時に接続できないものがあります。また、設定方法は機種により異なりますので、携帯電話・スマートホンの取扱説明書も合わせてご覧ください。

電源コンセントから充電する場合は、市販の USB 対応 AC アダプタが必要です。

付属の USB ケーブルを本機の USB 端子と、USB 対応 AC アダプタの USB 端子に接続し、USB 対応 AC アダプタを電源コンセントにつなぎます。

充電中は本機の LED ランプが点灯し、満充電になると消灯します。充電が完了したら、USB ケーブルを本機からはずしてください。

### 内蔵電池残量について

本機のバッテリーインジケータの LED ランプが電池残量を表します。確認したい場合は音量ボタン (-)(+) を押してください。

#### ご注意

付属の USB ケーブルは防水仕様ではありません。水がかかる恐れのある場所で、USB ケーブルを接続して使用しないでください。

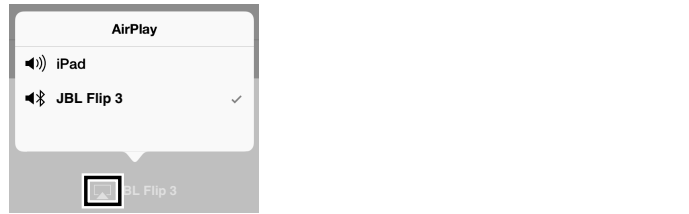
**その他のデバイス（携帯電話・スマートホンなど）の場合：**

- ペアリング設定状態にする。接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も合わせてご覧ください。（パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。）一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。Bluetooth ボタン ( ) が青く点灯すると、ペアリングは完了です。

### ▶ Bluetooth 再生を行う

Bluetooth 再生を行うには、ペアリングを行ったあと本機を再生機器として設定します。

### iPhone/iPod/iPad で設定する



- iPhone/iPod/iPad 画面を下から上へスワイプする。
- アイコンをタップする。
- 「JBL Flip 3」をタップする。

### その他のデバイスで設定する

▷ 接続したデバイスで再生を始める。

接続するデバイスによって再生の手順は異なります。詳細については、接続するデバイスの取扱説明書も合わせてご覧ください。

本機のハンズフリーボタン ( ) / 再生一時停止ボタンを押して再生・一時停止を操作することができます（一部対応していないデバイスがあります）。

### ▶ Bluetooth 接続を解除するには

デバイスの Bluetooth を「OFF」にします。

<p><b>オートパワーオフ機能について</b></p> <p>本機の電源がオンのとき、約 10 分間以上音声入力がなく、操作も行われない状態が続くと、自動的に電源がオフになります。電源がオフになったときは、本機の電源を入れてからデバイスを接続しなおし、デバイス上で音声の再生を始めてください。なお、オートパワーオフ機能をオフにすることはできません。</p>
---

## ハンズフリー通話を行う

iPhone・携帯電話・スマートホンとハンズフリー (HFP) 接続すると、本機のハンズフリーボタン ( ) で iPhone・携帯電話・スマートホンの簡単な操作を行うことができます。

ハンズフリーボタン (  ) の操作		
状態	1 回押す	押し続ける
着信しているとき	電話を受けます。	着信拒否します。
通話中	電話を切ります。	本機から電話に通話を切り換えます。
通話中に別の着信があったとき	現在通話している電話を保留にし、着信している電話を受けます。	着信している電話を着信拒否します。

※ 機種により、一部の機能を使えない場合があります。
※ 携帯電話・スマートホンの取扱説明書も合わせてご覧ください。
※ マルチポイント接続中は、ハンズフリー機能を使うことはできません。

## もう 1 台の FLIP 3 をワイヤレス接続する (JBL コネクト)

もう 1 台の FLIP 3 を接続して、2 台のスピーカーで同じ音声を再生したり、ステレオ再生することができます。

- 1 台のスピーカーとデバイスを Bluetooth 接続する。接続方法は、「Bluetooth 接続を行う」を参照してください。
- Bluetooth 接続したスピーカーの JBL コネクトボタン ( ) を押す。JBL コネクトボタン ( ) が点滅します。
- 2 台目のスピーカーの JBL コネクトボタン ( ) を押す。接続されると、JBL コネクトボタン ( ) が点滅から点灯に変わります。

JBL Connect アプリ ( 英語版・無料 ) を使うことで、同時に接続した 2 台のスピーカーを左チャンネル、右チャンネル用に設定し、より臨場感のあるサウンドをお楽しみいただくことができます。



JBL Connect アプリは App Store または Play ストアからダウンロードし、インストールしてください。

\*JBL Connect アプリは、iOS7 以上、Android 4.3 以上の端末に対応しています。

## その他のオーディオ機器の音楽を聞く

市販の 3.5mm ステレオミニプラグつきオーディオケーブルを使ってお手持ちのオーディオ機器・PC に接続し、音声を再生することができます。

- 3.5mm ステレオミニプラグつきケーブル (市販) を使って、オーディオ機器・PC の音声出力端子と本機の AUX IN (オーディオ入力) 端子に接続する。
  - 端子に水分が付着している場合は、よく乾かしてからご使用ください。
- オーディオ機器または PC で音声を再生する。

#### ご注意

水がかかる恐れのある場所で、オーディオケーブルを接続して使用しないでください。

## トラブルシューティング

原因	解決法
<b>本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。</b>	本機が充電されているかご確認ください。
<b>電源は入るが、音が出ない。</b>	ペアリングされているかご確認ください。 <p>オーディオ入力ケーブルでオーディオ機器に接続している場合、音量をご確認ください。</p> <p>オーディオ機器側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。</p>
<b>音が歪む。</b>	音量が上がりがすぎている場合は音量を下げてください。
<b>ペアリングできない。</b>	お手持ちの機器が本機に対応しているかどうかご確認ください。 <p>別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。</p>

## 主な仕様

Bluetooth	Bluetooth4.1
伝送距離	Class 2 (通信距離約 10m、障害なきこと)
対応プロファイル	A2DP、AVRCP、HFP、HSP
音声入力	Bluetooth、外部音声入力× 1
最大出力	8W × 2
使用ユニット	40mm 径フルレンジドライバー× 2
周波数特性	85Hz ~ 20kHz
電池	リチウムイオンポリマー充電電池
充電時間*	約 3.5 時間
連続再生時間*	約 10 時間 (ボリュームレベルや再生内容により異なります)
サイズ	幅 169mm ×高さ 64mm ×奥行き 64mm
質量	450g
保護等級	IPX5 (あらゆる方向からの噴流水による有害な影響がない「防噴流形」)

※ ・電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光があたらず、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

#### ご注意

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

### ▶ 本機の廃棄について

**Li-ion**
本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒には廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

#### ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

### ▶ HARMAN Owners' Club

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club (ハーマンオーナーズクラブ) は、ハーマンインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。

携帯電話（フィーチャーホン）からはご登録できませんのでご注意ください。

### ▶ 製品に関するお問い合わせ

Tel：0570-550-465（ナビダイヤル）

<http://jbl.harman-japan.co.jp/support/>

メールでのお問い合わせは、上記 URL よりお問い合わせフォームをご利用ください。

受付時間：土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ～ 17:30